

シヨート・ステイ体験記

松山市 大塚 則子

七月二十九日、いよいよシヨート・ステイ体験入所の日がやってきた。この日は自分でホームまで行く予定にしていたが、台風五号の接近で、前日先生より十時に迎えに行くからと電話を頂き、地図はもらっていたが正直言って方向音痴の私としては、何かホットした思いがした。車中で、私は先生とおしゃべりしながら、心の中はホームに近づくにつれて徐々に不安が大きくなっていった。十一号線を右折して緩い坂を上った所に、私が思っていたよりも大きな建物で清潔な感じのするホームがあった。緑に囲まれた静かなところだった。先生に色々説明をして頂き、ホームの中を案内して頂いたが、広くなかなか覚えられなかった。先生に紹介され、挨拶すると、寮母さんも園生の方も親しみを込めて迎え入れて下さり、私の不安も一気に取れ、何の違和感もなく、みんなの中にとけこむことができた。案内された部屋は、一番奥の明るい四人部屋だったが、この時利用者は私一人だったので少し心細い感じがした。その日は午後から女性の入浴になっているからと、私にも声をかけて頂いたが恥ずかしかったので辞退してしまった。今思うとこのことも一つの体験だったのにと、反省!!

昼食後、中庭に出て、Aさんと色々話が弾んで友達になった。園内が広くどこへ行くにも迷ってばかりの私に、付きっきりで色々教えてくれたAさん。食時の時食器を片付けてくれたMさん。Mさんは時々愛大でお会いしたことがあった方だったので、食事の時はMさんの横の方がいいでしょうと、配慮して頂いたり本当に細かいところまで心配りをして頂いたことが、とても嬉しく感じた。今まで私が描いていた、施設とは異なり、本当に家庭的な雰囲気でした。

皆さんどうもありがとうございます。次にお世話になる時も宜しくお願いします。



めぐみ句会

《入所者》

夕風に青柿落つる夜のとばり
 悲しみもまた新なり盆燈籠
 麻痺の牛の震へしたゝる花火かな
 鴨川の河原にざわふ芋煮会
 短冊に多くの願ひ笹祭り
 南天の花白く葉に散りにけり
 朝顔やその朝ごとの花の色
 萎へし手で汗を拭き拭き坂登る
 霧吹きを頼みで蛭宅送す
 芋炊きや川面を渡る風の音
 散歩する若き二人や月今宵
 娘達揃ひ浴衣で踊りけり
 母さんの小さな肩に夏帽子
 風鈴や笑顔を向ける太陽に

《地域・職員》

ふと兆す恋慕の情やカンナ燃ゆ
 蛸や訪ねし家の人は留守
 新盆の名旗さみしく雨に濡れ
 討心湧きをりトンボ見つめをり
 空蟬の風がないのにころがりぬ
 目で語る失語の母や秋暑し
 大雨に伏せし桔梗を剪って挿す
 舟べりの水音るゝと夜光虫
 墓へ行く道狭めたる穂草かな



岡田 務
 立町 龍夫
 宇佐美 孝治
 矢野 一雄
 玉井 隆三
 大野 吉康
 井上 敏男
 松浦 ゆき子
 渡辺 菖子
 平田 みゆき
 荒井 和美
 津野田 萬里子
 渡部 房子
 吉本 恵子
 山田 恵雲
 佐伯 芳女
 池川 水穂
 菅野 美代子
 花山 和子
 宇和川 悠起
 渡部 五月
 戒能 多喜
 池川 蛸谷